

講座だより

第7号
10月発行

10月19日(土)に「浜松労政会館」にて第6回目の養成講座を実施しました。第6回講座の内容は「安全管理/プログラムデザイン」です。午前中はウィルダネスメディカルアソシエイツジャパンの横堀勇氏をお招きして「安全管理」と題し、プログラムを実施する上で行うべき安全管理について、午後は第5回に引き続きキープ協会の関根健吾氏をお招きして、プログラムを作り上げる「プログラムデザイン」についてお話いただきました。以下講座の様子です。



【講師の横堀勇氏】



【グループワークの様子】

講座の序盤で、被害の可能性をゼロにすることは不可能であるため、正しく心配し行動することが求められることが伝えられました。その後、第5回講座にて実施したプログラムの中に潜んでいたリスクと、それを防ぐ対処法などを考え、危険度と頻度で分類するグループワークなどを行いました。同様のリスクでも人それぞれ位置づける危険度に違いがあり驚く参加者に対して、このようにギャップが生じるということを認識しておく必要があると説明がありました。



【講師の関根健吾氏】



【講座の様子】

講師による3つのプログラムを体験。同じテーマを一方向型、双方向型、多方向型それぞれで実施したもので、これらの使い分けが必要と説明がありました。その後「こんなプログラムは嫌だ」というテーマでグループごとに書き出すグループワークを行いました。出された意見のようなプログラムを避けるためには、まずは対象者を理解するよう努め、情報を集めること、そして「時間・空間・関係」のデザインをすることが大切との話がありました。

《発行元》

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課
電話:054-221-2849 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp